

たかひこ通信

お読みいただき、皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。



部内資料 たかひこ通信 No. 94
2019/2/26 〒399-8601 長野県
北安曇郡池田町大字池田3089-4
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093
mail : peacea@peach.plala.or.jp
http://web-ariakesan.com/

町議会2月臨時会

災害復旧工事契約などを可決

- 2月12日に2月町臨時議会が開かれました。その概要は下記のとおりです。
- ①一丁目公民館・和合公民館（高齢者支えあい施設）が県補助金を用いて施設改修が終了したので、各々の公民館の指定管理者はそれぞれの自治会長とすることを承認した。
 - ②昨年の10月の台風21号で中之郷東山の町道(332・300号線)斜面崩壊改修工事の契約締結を全議員の賛成で可決した（契約金額5,184万円）。
 - ③任期満了にともなう町固定資産評価委員に矢口茂樹氏（滝沢）・赤田喜久市氏（吾妻町）の両氏を議会同意した。

北アルプス広域連合議会2月定例会

2019年度北アルプス広域連合予算を可決



2月13日～14日、北アルプス広域連合議会2月定例会が大町市役所の議会棟で開かれ、連合議員として議案審議しました。今回の定例会では来年度予算が審議され全ての議案が原案どおり可決されました。消費税10%を見込んだ予算ではありましたが、③のとおり介護保険料の軽減は否定できないので予算案に賛成しました。主な内容は次のとおりです。

- ①買い物サポート事業・介護予防運動などの活動が評価され、国から213万円の保険者機能強化交付金が交付された。来年度も買い物サポート事業を続けていく。
- ②来年度中には市立大町病院での病児保育開始に向け取り組む。
- ③消費税10%が実施された場合、低所得（第1～3段階）の方の介護保険料が軽減される（軽減額＝1,710円～8,550円/年・人）。

町議会「食育推進特別委員会」の視察研修で

三重県名張市の「名張市ばりばり食育条例」を視察研修してきました



名張市議会で川合議長さんから説明を受ける

3月4日、議会食育推進特別委員会の視察研修で三重県名張市へ行きました。名張市議会は議会発議で「名張市ばりばり食育条例」を条例化しました。名張市議会の川合議長さんなどから、条例化の取り組みなどを聞きました。コンパクトに良くできた食育条例であり、池田町の食育推進条例にも活かしていきたいと思いました。また、名張議会の活動に池田町議会も学んでいかなければと思いました。主な内容は次のとおりです。

- ①「名張市ばりばり食育条例」の取り組み項目・目標は簡潔に定められ、取り組み易い条例となっている。また、取り組み状況を議会へ毎年報告することが条例で義務付けられているので、毎年改善に向けた努力が継続されている。
- ②川合議長は「議会の役割は政策提言していくこと」とし、この観点から名張市議会では、「名張市子ども条例」、「名張市ばりばり食育条例」、「ものづくり条例」、「名張のお菓子でおもてなし条例」、「伊賀名張の酒・名酒で乾杯を推進する条例」をみんなで制定している。また、県議を務めた名張市長からも議会に、「この課題で条例を制定してくれとの要請がくる」との話もあった。

町議会「総務福祉委員会」の視察研修で

生坂村のデマンドバスの運行方法を研修してきました



議会総務福祉委員会の調査事業で生坂村役場へ行き、生坂村の周回デマンド交通システムを研修してきました。池田町でも町内巡回線を定時のデマンドにすれば、デマンド交通が実現できるのではと思いました。今後、検討していきたいと思いました。主な内容は次の3点です。

- ①村職員が自ら研究し良いデマンドシステムを創り上げた。また、デマンド予算は毎年5年先まで財政シミュレーションして予算を立てている。
- ②歩けない人に社協の福祉有償運送システムを、歩ける人には地域の指定場所まで歩いてもらい、定時の周回デマンドバス（8人乗り）で「やまなみ荘」などの中継基地まで接続するシステムを創り上げた。
- ③デマンドの取り継ぐをする人は「やまなみ荘」の職員とし、人材の有効活用で経費削減を図った。

今月の短歌： みどり葉の吹雪にのこる氷雪 まなこに浸みる南天の赤